

この史代×竹宮恵子×吉村和真

# マンガ

創作者と研究者による新たなアプローチ

白熱! クロストーク  
マンガ表現論を超えて——

読

組

# タカカミ

楽

生



ユニークな作品続々!  
オリジナル漫符講評会



マンガ徹底分析!  
「夕風の街」を読み解く



珠玉の短編  
「夕風の街」  
完全再録!



“虎の巻”大公開!

この史代の授業レジュメ  
竹宮恵子のマンガ表現発達史

樹村房



簡単に読み流してほしくない場面は  
不自然な表現になる。  
無意識なんですけどね  
——この史代

マンガが本当に社会に役立つ形を  
これからつくっていかなければいけません  
——竹宮恵子

実作者による自覚的なアプローチで  
マンガ表現論の可能性は広がる  
——吉村和真

# マンガノミカタ

こうの史代×竹宮恵子×吉村和真





## はじめに

あれは2012年3月、フランスはパリのポンピドゥーセンターに出張した時のこと。この史代さんと竹宮恵子さん、そして、筆者を含めた三人が、初めて一緒になる好機を得ました。現地では、「原画' (ダッシュ)」にまつわるイベントに竹宮さんが、『夕風の街 桜の国』の伝話版に関するトークショーにこうのさんが、それぞれメインゲストとして出演されたのですが、いずれの会場も若者たちで盛況だったことを鮮明に覚えています。

そして2019年1月、京都国際マンガミュージアムでのトークイベントを介し、数年ぶりに同じ三人が集まりました。このイベントは、こうのさんの著作『ギガタウン 漫符図譜』をテーマとする展覧会を記念したもので、マンガ特有の記号表現である「漫符」を手がかりに、マンガの特徴や可能性について自在に語り合いました。

以上のご縁とトークイベントが、本書のベースとなっています。くわえて、マンガの創作者と研究者という立場の違いはありますが、三人とも大学でマンガについて教えてきたという共通点もっています。つまり、ここ数年のマンガの国際的な展開や教育現場での活用を目の当たりにする中で、世に発信したい関心事をそれぞれに蓄積していたのです。

本書を学術専門書でなくムック形式にしたのは、それらの関心事をできるだけわかりやすく読者に伝えられるよう、視覚的な要素を追求したためです。結果的に、執筆三人の専門性や経験則、さらには、マンガのおもしろさや奥深さを引き出しながら、多面的な問題提起ができたのではないかと考えています。

本書のタイトル「マンガノミカタ」は、まさしくその多面性を示しています。「見方」「味方」というダブルミーニングはもとより、「編み方」「生み方」「組み方」「楽しみ方」など、マンガに対する多面的なアプローチの誘発を意図したというわけです。

こうした要素や意図を反映して、本書ではふんだんに図版を使用しています。それだけに多くの関係者にお世話になりました。『ギガタウン 漫符図譜』の引用をご快諾いただいた朝日新聞出版、「夕風の街」の全ページ再録にご協力くださったコアミックスならびに双葉社、その他、引用資料に関わる漫画家や出版社の関係者各位、それぞれに深く感謝申し上げます。また、タイトルの相談に快く応じていただいた「ゲンガノミカタ」展の主宰者・横手市増田まんが美術館の大石卓館長、こうのさんの授業レジュメを整理してくださった比治山大学の久保直子さん、諸々の準備に対応してくれた京都国際マンガミュージアムと京都精華大学国際マンガ研究センターのみなさん、そして、発行元・樹村房の大塚栄一さん、安田愛さん、どうもありがとうございました。

この本を手にとっていただいた方々が、これから本編を読み進められる中で、より豊かな「マンガノミカタ」を発見してくださることを、私たちは願っています。

2021年8月18日

執筆者を代表して 吉村和真

# マンガノ 読組 ミカタ 楽生



## C o n t e n t s

### Cross talk

- 004 こうの史代×竹宮恵子×吉村和真  
「マンガ表現論」を超えて  
描き手として、教育者としてのアプローチ

- 042 **研究** マンガ表現の発達を視る by 竹宮恵子  
オノマトペと描き文字表現  
「叫ぶ」表現の変化

一部

- 050 こうの史代の授業レジュメ 大公開!

- 053 吉村和真が読み解く「夕凧の街」4つの視点による全ページ解説  
この史代の言葉について -「夕凧の街」の方言と標準語-  
「夕凧の街」の原爆ドームから見えるもの -「マンガの風景」に関する表現論的一考察-

- 092 こうの史代×竹宮恵子×吉村和真  
「オリジナル漫符」講評会 @「ギガタウン・イン・テラタウン」展



- 100 おわりに

「おわりに」のはじめに  
「おわりに」マンガ こうの史代  
「おわりに」マンガ 竹宮恵子  
「おわりに」のおわりに



# この史代×竹宮恵子×吉村和真 「マンガ表現論」を超えて

## 描き手として、教育者としてのアプローチ

1990年以降のマンガ研究を深く前進させた「マンガ表現論」の発展には  
「漫符」の発見と分析が深く関わっている。

漫符をユニークに解いた『ギガタウン 漫符図譜』の著者であるこの史代さん、

少女マンガ界に革命を起こした開拓者である竹宮恵子さんのお二人が、

漫画家の立場から、またマンガ教育に携わり、

マンガという表現をことばで説明してきた立場から、

この研究分野の補完、あるいは新たな展望を試みたクロストーク。

もう一人は、マンガ研究者である吉村和真さん。

「漫符」の、ひいてはマンガ表現そのものの豊かな世界を深掘りした解説は、

新たな表現の可能性にも満ちたスリリングな内容になっている。

MANGA  
Cross talk



吉村和真

Kazuma YOSHIMURA

©この史代(『ギガタウン  
漫符図譜』p.124より)

京都精華大学マンガ学部教授

専門は思想史・マンガ研究。「マンガを読む」という行為が成立するまでの歴史とその行為が人間へ与える影響を研究している。日本マンガ学会や京都国際マンガミュージアムなど、研究環境の整備に尽力。近年は自治体や省庁との連携を通じて研究成果の社会還元を推進している。主編著に『はだしのゲンがいた風景』(2006年)、『差別と向き合うマンガたち』(07年)、『マンガの教科書』(08年)、『複数の「ヒロシマ」』(12年)、『障害のある人々に向けたLLマンガへの招待』(18年)、『マンガ・スタディーズ』(20年)など。



竹宮恵子

Keiko TAKEMIYA



©竹宮恵子

漫画家、京都精華大学名誉教授

1950年、徳島市生まれ。68年「週刊マーガレット」新人賞に「リンゴの罪」が佳作入選しプロデビュー。76年「風と木の詩」連載を開始。少年愛をテーマとした同作は人間ドラマの傑作として、その後のマンガ界に大きな影響を与えた。他にも『地球へ…』『イスファローン伝説』『天馬の血族』など著作多数。第9回星雲賞コミック部門、第25回小学館漫画賞、第41回日本漫画家協会賞文部大臣賞受賞。2014年、紫綬褒章受章。00年より京都精華大学教授、14年4月学長に就任(～18年3月)、20年4月定年退職。日本マンガ学会会長。

とよ



この史代

Fumiyo KOUNO

©この史代(『ギガタウン  
漫符図譜』p.121より)

漫画家、比治山大学客員教授

1968年9月、広島市生まれ。95年『街角花だより』でデビュー。2005年、原爆をテーマにした作品「夕風の街 桜の国」で第9回手治塚虫文化賞新生賞、第8回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞を受賞。10年、太平洋戦争中の広島県呉市の日常をていねいに描いた「この世界の片隅に」で第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞。その他、「長い道」「っこさん」「平凡倶楽部」「ぼおるべん古事記」(平成25年度古事記出版大賞神田阿礼賞受賞)など著作多数。

読む前にココをCheck!  
キーワード

### マンガ表現論とは？

マンガをほかならぬマンガとして論じるべく、描線やコマといった固有な要素にそって、マンガの表現の特徴やしぐみを捉えようとする論考・方法。早くは1970年代に散見されるが、手塚治虫の死後、90年代に活性化し、以後のマンガ研究において主流となっていった。

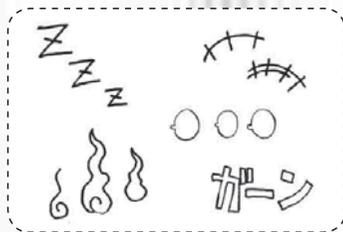


### 『ギガタウン 漫符図譜』

この史代による、マンガ独特の記号表現である「漫符」の解説と用例を併載したマンガ作品。4コママンガの中で「鳥獣人物戯画」(高山寺蔵)の動物たちがうさぎのみみちゃん、かえるのあおい君など現代風にアレンジされて登場する。2018年に朝日新聞出版より刊行。

### 漫符とは？

マンガ特有の記号表現のこと。個別の意味をもつ要素もあれば、セリフを囲う「吹き出し」のようにマンガの基本的要素も含む。



本稿は2019年に開催された「ギガタウン・イン・テラタウン」展 関連イベントの内容を収録したものです。

「ギガタウン・イン・テラタウン」展関連イベント  
対談 この史代×竹宮恵子  
「マンガ表現論」を超えて  
開催日：2019年2月9日(土)  
会場：京都国際マンガミュージアム

### 「ギガタウン・イン・テラタウン」展

『ギガタウン 漫符図譜』を紹介した展覧会。2018年11月22日～2019年4月2日に京都国際マンガミュージアムで開催。イベント名は〈テラタウン=京都〉〈ギガ=鳥獣人物戯画〉に加え、〈テラ・ギガ=データ容量の単位〉もかけられている。展示は、100点以上の原画を一堂に集めたパートと、同作で紹介されている10の漫符を歴史と使用例と共に紹介したパートの2部構成。同展のための描き下ろしイラストも展示された。



### 京都国際マンガミュージアム

<https://www.kyotomm.jp/>  
京都市中京区の元・龍池小学校を改修して開館した、博物館的機能と図書館機能を併せ持つ文化施設。京都市と京都精華大学の共同事業で、マンガ資料の収集・保管・公開と調査研究を進め、その成果に基づき展示や講演、国内外の関係機関との交流など、マンガ文化に関する多面的な活動拠点となっている。



## 『ギガタウン 漫符図譜』を解説する

マンガに縁がない方にもなじむ  
「鳥獣戯画」をモチーフに

吉村 では始めましょう。

まずこうのさんにお聞きしたいのですが、『ギガタウン』という作品をつくるにあたっての動機というか、背景を教えてくださいませんか。

こうの マンガの読み方が年々難しくなっているように思っています。漫符を集めたものというか、その事典をつくりたいと前から思っていたのです。

吉村 それはけっこうな期間、あためていたアイデアだったのですか。

こうの わりと長く考えていて、漫符についてマンガの評論家や研究者がまとめてくれたものをいくつか読んだことはあったのですが、1コマだけを取り上げて説明するものが多いです。「こういう流れでこの漫符は出てきて、こういう感情を表しているのだ」と流れにそって伝えるもの、しかもそれを統一感がある絵柄で見てもらいたいというのがずっとあったのです。

吉村 つまり、いろいろな種類の漫符がカタログ化されているものというより、作品の流れや文脈の中で紹介してみたいです。

こうの そう。1コマだけで切れ切れになっていると、いくらいいねいに説明がなされていてもピンとこなかったり、すぐに忘れてしまったらと思うのです。それで、そういう流れがわかるものができるといいかなと。うちの母はマンガが全然読めないのに、そういう人でもわかるような。

たまたま知り合いになった水野さんという編集さんがいらっちゃって、「何かお仕事がないですかね」という話をされていて、そのときに「ぜひ、《漫符事典》をつくりたいと思ってるので、そういうマンガをどこかに発表させてもらえませんか」という話をしたので。

吉村 そのときのエピソードが『ギガタウン』の「おしまいに」にマンガで描かれています。

こうの そうですね。

吉村 そしてA案、B案がありました。

こうの 最初はA案でいくことになっていました。

吉村 A案は、ピクトグラムでマンガの本質をつかまえようという内容ですね。

こうの 萌えマンガみたいな感じのキャラクターとピクトグラムで、というふうにしたかった。というのも、萌えマンガにはわりと漫符が多く使われているように思っています。萌えマンガというのは、キャラクター重視の、オチがあまり強くないというか、居心地のいい

マンガですね。かわいらしい感じのキャラクターが何気ない日常を送るのを一緒に味わうような楽しみ方で、いつときはやっつたんですよ。

吉村 こうのさんの萌えマンガが読めたチャンスだったかもしれないということですね。

こうの そうなのです。そういうのでやるうと思っていたのです。

吉村 そのA案の説明を受けて、編集担当の水野さんは「うわあ キュンキュンしますね」と肯定されていますけれど(笑)。

こうの そう思ったんですけど、たまたまお会いする前日に「鳥獣戯画」のキャラクターは無表情だからこそできるかもしれないと思って描いてみたのですね。

吉村 はい。今度は水野さんが「あはははは」とものすごい勢いで笑っている。

こうの すぐくウケがよかったです。たしかにこちらのほうがおもしろいかもしれない、と。あと、掲載される雑誌がわりとマンガに縁がない方が読まれるような朝日新聞出版のPR誌だったこともあって、こちらのほうがなじみがいいかもというのもちょっとありました。

吉村 そうですね。『この世界の片隅に』(※1)を描き終えられてから約10年。この間にアニメの大ヒットもあって、こうのさんといえ



## 作品の流れや文脈の中で 漫符を紹介したかったんです ——この史代

この作品への注目が高まってきたのですが、もっと広い視点でこの作品というか、漫画家としてのこのさんの魅力を評価するにはどうすればよいかということ、マンガミュージウムで考えてみたいと思ったことから、今回の展示企画に至った経緯があります。そのあたりについて、少しここで別の話題を絡めますと、実はこの「ギガタウン展」の一部と竹宮さんの作品が、京都組の代表み

いな形で、今年の5月から始まる大英博物館の日本のマンガ展（\*2）に出品が決定しています。すごく画期的なことですよ。くわえて、『ギガタウン』が、昨年に出た「このマンガがすごい！ 2019」（\*3）のベスト10に入ったのですよね、しかも、初めてオンナ編で。

**このの** そうですね。

**吉村** これまでも「夕風の街」（\*4）『この世界の片隅に』が、オトコ編にランクインしたことはありましたが。

**このの** オンナ編は今回が初めてです。

**吉村** そうですね。受賞に際して発表されたこのさんのコメントを紹介しますと、『夕風の街』と『この世界の片隅に』はいずれも「戦争」を題材にしている、テーマ性で評価された面もあるように思っています。

### （\*1）『この世界の片隅に』

この史代による、『漫画アクション』（双葉社）で2007年1月23日号から2009年1月20日号に連載されたマンガ作品。単行本が、2008年から2009年に上・中・下巻、2011年に新装版として前・後編の形式で刊行された。2011年と2018年にテレビドラマ化。2016年の劇場版アニメーションは記録的ロングランとなった。

### （\*2）大英博物館の日本のマンガ展

ロンドンの大英博物館で2019年5月23日から8月26日に開催された、日本のマンガを幅広い視点から紹介する展覧会「The Citi exhibition Manga」。国外開催のマンガ展としては最大規模であり、若者を中心に約18万人の来場者を動員した。

### （\*3）『このマンガがすごい！』

書店員、ライター、イラストレーター、編集者、評論家など各界のマンガ好きがその年の「すごいマンガ」を選ぶ年末恒例のランキング情報誌。オトコ編とオンナ編がある。

### （\*4）『夕風の街』

この史代による、広島市への原爆投下から10年後を舞台としたマンガ作品。2003年に『WEEKLY 漫画アクション』に掲載された。続編となる「桜の国（一）」「桜の国（二）」を併載した単行本『夕風の街 桜の国』（双葉社、2004）が、第9回手塚治虫文化賞の新生賞を受賞。

した。今回の『ギガタウン』は、鳥獣戯画というモチーフはあるものの、テーマはない、というかテーマは「マンガそのもの」なので、マンガの技術、腕前を認めていただけた気がしてとてうれしく感じています。

**このの** たいへん謙虚に述べられています。

**このの** いえいえ。でも「鳥獣戯画」人気に乗っかって（笑）。

**吉村** さらに謙虚に、「少し自信になりました」という言葉もありますが。

**このの** 四コママンガで評価されたのはうれしかったですね。

**吉村** というわけで、内容の話に入る前に、このさんが『ギガタウン』にかける思いみたいなことを知ることができてたいへん良かったです。

**このの** ありがとうございます。

『ギガタウン 漫符図譜』を解説する



簡略化された漫符の  
意味や機能を4コマに

**吉村** それでは、いよいよ竹宮さんとともに『ギガタウン』の内容についてお話ししますけれども、竹宮さん、このさんのこれまでの作品と比べて『ギガタウン』をどのように読みましたか。

**竹宮** 『ギガタウン』を読んで違和感があったかというところもなく、「鳥獣戯画」のキャラクターで無表情だからいいとおっしゃったのですけど、動物たちの動きが完全にこのさんですよ（笑）。

**このの** そうですか？（笑）。

**竹宮** キャラクターがうまくりでやってらっしゃるなと思って。

**このの** ありがとうございます。

**竹宮** 本当に楽しいマンガでした。

**吉村** 動きがこののさんというのは、このキャラクターでもこののさんらしさが出ているという意味ですね。

**竹宮** そうです。たぶんこののさんのキャラで描くと、こんな動きだろうというふうに思える動き方なので、すごくこののキャラを思い浮かべることが可能という感じでした。

**吉村** なるほど、キャラの動き方ですね。後

目次 兼 索引

独立して描かれる漫符

 P70 P42	 P46	 P36 P38, 75, 76巻	 P23 P32, 38, 65巻	 P13 P38, 51, 120巻	 P6 P9, 10, 73
 P71	 P47	 P41	 P30 P25, 114, 115	 P15	 P7 P23, 55, 120
 P77	 P54 P19	 P42 P40, 44, 76巻	 P32 P40	 P17 P21, 115, 124	 P8 P38, 58, 119巻
 P78 P77	 P61 P38, 55	 P43	 P33	 P20 P19, 55	 P9 P14, 60, 100巻

『ギガタウン』の目次

で触れますが、同じキャラでも描き手が違ったりそこにいるいろいろな個性が宿るので、そういうことも含めて、具体的な作品の中で話を進めていきたいと思います。

まず、『ギガタウン』の重要なポイントは、副題の「漫符図譜」という部分です。「漫符」とは何かを簡単にいいますと、「マンガ特有の記号表現」と定義されています。その漫符が『ギガタウン』の目次にずらっと並んでいます

が、取り上げる事例を選ぶにあたって、こののさんはけっこう悩まれたのですか。

**このの** 企画を出した段階で、思いつくままに適当に書き出したのです。順番はばらばらに。そうしたら三十何個あったのですよ。これならば一冊分になるのではないだろうか、そのときにちよつと思つて。目次は最初からこういう形式にするか決めていてですね。というの、島田秀平の手相の本を読んだとき

## マンガの約束事みたいなものを 一遍に見せるのはすごく大事なこと —— 竹宮恵子



に、目次がこんな感じになっていたのですよ。手の写真があつて、生命線がこうなつていたからこつですよというのがずっと描いてあるのです。その目次がおもしろかつたので、いつか〈漫符事典〉をつくるときにはこの形式にしよう。

**吉村** けつこうアイデアをあたためていらつしやつたのですね。

**こつ** そうですね。でも、分類することは

考えていなかったのです。私はだから漫画を全部ここに並べればいいかと思つていたのですが、もうちょっとわかりやすくしたほうがいいですよという提案をいただいて。悩んだ末の分類です。

**吉村** なるほど。四コママンガの中で漫符の事例紹介をしようという発想は、どのあたりで出てきたのですか。

**こつ** それはもつと前からですね。

**吉村** では、四コママンガでの用例が先にあつたのですね。

**こつ** そうですね。

**吉村** 竹宮さん、こうした本書の構成に対して、一言コメントをいただければ。

**竹宮** 〈漫符事典〉は、留学生とかマンガを幼いころから読み慣れていない人たちにはすごく喜ばれるでしょうね。描き手もほとんど、こういう区分けを自覚的にしていないですから。

**こつ** そうですね。

**吉村** あえて言語化したり分類したりするわけではない、という意味ですか。

**竹宮** はい。表をつくつたり

は誰もしないので。

**こつ** 自分が使いやすいものを使うだけですからね。

**竹宮** そうですね。でも、マンガの約束事みたいなものを全部一遍に見せるのはすごく大事なことで、この『ギガタウン』が出版されたタイミングで、大英博物館からマンガ表現の導入に適した素材の相談もきたんですよ。

**吉村** ちょうど合致していましたね。

**竹宮** そうですよ。なので、「もうこれ！」みたいな感じになりましたね。

**こつ** ありがたいです。

**吉村** ちょっと補足ですが、日本のマンガ展が大英博物館で開催されるにあつて、海外でマンガは人気があるとはいえ、イギリスではまだ読み慣れていない方々もたくさんいることを考慮すると、展示の導入部分にどんな素材を紹介したらいいか、芸芸員の方から相談があつたんです。それで、この『ギガタウン』にご指名があつたというわけです。

**竹宮** そうですね。マンガ独特の表現である漫符がたくさん並んで、しかも四コママンガの中で紹介されているので。

**吉村** そうですね。本書の「おしまいに」に描かれていた、こつさんの周囲にもマンガを読めない人がけつこう多いというエピソードもあつて。

# マンガノミカタ

創作者と研究者による新たなアプローチ

---

2021年10月8日 初版第1刷発行

---

著者 こうの史代・竹宮恵子・吉村和真

発行者 大塚栄一

発行所 株式会社 樹村房

〒112-0002 東京都文京区小石川5-11-7

電話 03-3868-7321 FAX 03-6801-5202

振替 00190-3-93169

<https://www.jusonbo.co.jp/>

---

企画協力／京都国際マンガミュージアム

編集協力／飯田真由美

表紙・本文デザイン／飯野明美

表紙の吹き出しと文字／こうの史代

印刷／亜細亜印刷株式会社

製本／神保製本株式会社

---

© Fumiyo Kouno, Keiko Takemiya, Kazuma Yoshimura 2021

Printed in Japan

ISBN978-4-88367-353-7

乱丁・落丁本は小社にてお取り替えいたします。